

トラノコ・ファンドⅡ

愛称：中トラ CHŪ-TORA



第8期 決算日：2025年3月21日

作成対象期間：2024年3月22日～2025年3月21日

＜受益者の皆さまへ＞

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、ご購入いただいております「トラノコ・ファンドⅡ 愛称：中トラ」は2025年3月21日に第8期決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	◆ファンドは、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、実質的に世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）される上場投資信託証券（以下「ETF」といいます。）および上場指標連動証券（以下「ETN」といいます。）に投資することにより、主として国内外の株式、債券、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、金利等に投資します。 ◆マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。 ◆マザーファンドにおいて、原則として、米ドル建ての実質的外貨建資産に対して50％～100％の範囲で、適時、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。 ◆外国為替予約取引は、ヘッジ目的に限定します。
主要投資対象	親投資信託である「トラノコ・マザーファンドⅡ」
組 入 制 限	1. ETFおよびETNへの実質投資割合には制限を設けません。 2. 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 3. デリバティブの直接利用は行いません。 4. 一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10％、合計で20％以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
分 配 方 針	①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託会社が、信託財産の成長に資することを目的に、上記①の範囲内で、基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。従って、必ず分配を行うものではありません。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

TORANOTEC
ASSET MANAGEMENT

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 引 前 期 騰 落 中 率			投資信託証券 組 入 比 率	純 資 産 額
		分 配 金 騰 落 中 率				
4 期 (2021年 3 月22日)	円 11,563	円 0	% 27.8	% 96.0	百万円 998	
5 期 (2022年 3 月22日)	11,684	0	1.0	96.6	1,255	
6 期 (2023年 3 月20日)	10,948	0	△ 6.3	94.6	1,461	
7 期 (2024年 3 月21日)	12,579	0	14.9	96.0	1,736	
8 期 (2025年 3 月21日)	12,881	0	2.4	94.7	1,870	

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

当期中の基準価額等の推移

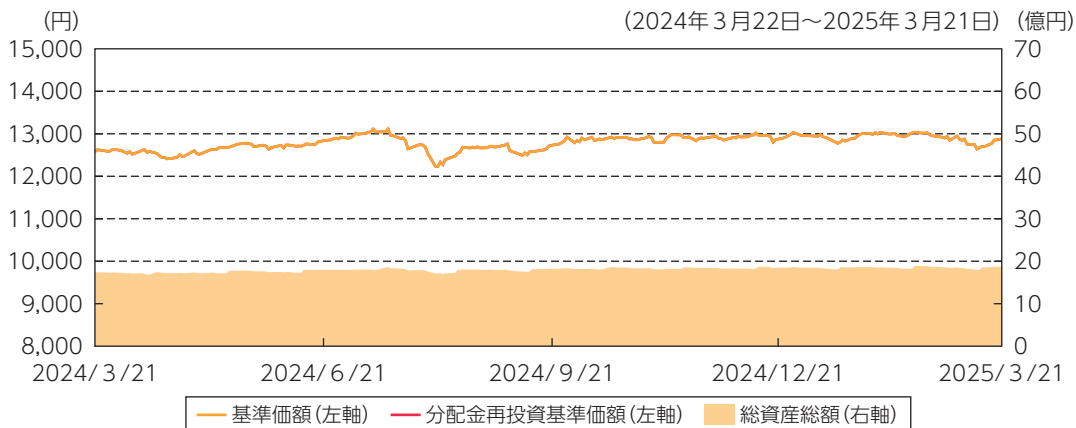
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
(期 首) 2024年 3 月21日	円 12,579	% —	% 96.0	
3 月末	12,635	0.4	96.9	
4 月末	12,604	0.2	97.4	
5 月末	12,674	0.8	96.2	
6 月末	12,917	2.7	96.5	
7 月末	12,735	1.2	94.0	
8 月末	12,695	0.9	93.9	
9 月末	12,789	1.7	97.0	
10月末	12,910	2.6	96.7	
11月末	12,850	2.2	94.3	
12月末	12,967	3.1	96.5	
2025年 1 月末	13,035	3.6	94.9	
2 月末	12,848	2.1	93.9	
(期 末) 2025年 3 月21日	12,881	2.4	94.7	

(注) 騰落率は期首の基準価額比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

運用経過

期中の基準価額等の推移



第8期首：12,579円

第8期末：12,881円（既払分配金0円（税引前））

騰落率： 2.4%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 当ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示していません。

「基準価額」って？

ファンドの値段のことを基準価額といいます。また取引を行う際の単位があり、それを「口（くち）」と呼びます。1口＝1円からスタートし、その後、運用の成果により変動します。当ファンドを含む多くのファンドは1万口当たりの基準価額を公表しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの当期末基準価額は12,881円、前期末から302円のプラスとなりました。2024年度を通して、米国株式市場はAI関連銘柄によるけん引やFRBによる利下げなどから上昇した後、トランプ政権の関税政策で景気後退が懸念され小幅上昇となりました。債券市場やREIT市場では、日本を除き世界的に長期金利は低下しましたが、物価上昇や景気後退などが懸念されてまちまちとなりました。ドル円市場は日米金利差の縮小や米国景気後退懸念による円買いなどから小幅にドル安円高となりました。

（上昇要因）

- ・ 米国株式市場の上昇。

（下落要因）

- ・ 一部の債券銘柄やREIT銘柄の下落。小幅なドル円市場の下落。

 投資環境

(2024年3月22日～2025年3月21日)

<株式市場>

米国株式市場はAI関連銘柄によるけん引やFRBによる利下げなどから上昇していましたが、トランプ政権の関税政策で景気後退が懸念され、通期で見ると小幅上昇となりました。

<債券市場>

債券市場は、FRBの利下げに合わせて長期金利が下落し債券価格が上昇する場面もありましたが、トランプ政権の関税政策による輸入物価の上昇などが懸念され、通期では横ばいの動きとなりました。

<REIT>

世界的な金利引き下げなどによる株価上昇により、REIT市場も好調な場面はありましたが、関税を巡る景気後退懸念が広がるとREIT市場も下落し、米国REITは小幅上昇でしたが日欧REITは下落するなど、まちまちな展開となりました。

<商品市場>

ゴールド市場は、比較される長期金利の低下や、中東やロシアを巡る地政学リスクの高まりなどに後押しされ大きく上昇しましたが、原油市場は景気後退による原油需要の縮小懸念などから下落しました。

<為替>

ドル円市場は、米長期金利低下と日長期金利上昇で二国間金利差の縮小が意識されて円高に振れた後、インフレ懸念などからドル高となっていました。年度末には関税政策による米国景気後退が懸念されて、再び円高となりました。

当ファンドの運用経過と結果

(2024年3月22日～2025年3月21日)

当ファンドは、トラノコ・マザーファンドⅡを通じて、世界各国の上場投資信託証券（ETF）等に投資しました。価格の振れ幅（リスク・リターン）に特に注目して運用されるこのマザーファンドは、リスクとリターンのバランスを重視し、大トラと小トラのマザーファンドの中間程度のリスクとなるように計算されたモデルポートフォリオに従って運用されています。

また、為替リスクに関しては、米ドル建ての実質的外貨建て資産に対して、期中に複数回ヘッジ比率の増減調整を行いました。ヘッジ部分は為替変動リスクが低減されますが、期末現在、ヘッジ比率は79.1%です。

今期の結果として、大きく下落した市場はありませんでしたが、大きく上昇した市場もなく、米国株式市場の小幅上昇などから、中トラも小幅上昇となりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年3月22日～2025年3月21日)

当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。従って、当ファンドとベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示しておりません。

分配金

(2024年3月22日～2025年3月21日)

中長期的な市場見通し等から複利効果を最大限に享受していただくことが最善であると判断し、当期は分配を見合わせました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第8期
	2024年3月22日～2025年3月21日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,880

(注) 対基準価額比率は、当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主として親投資信託である「トラノコ・マザーファンドⅡ」に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
「トラノコ・マザーファンドⅡ」

引き続き、運用の基本方針に従い、リスクとリターンのバランスを重視した最適ポートフォリオを構築することにより、ある程度のリターンの獲得を目指した運用を行います。

1万口当たりの費用明細

(2024年3月22日～2025年3月21日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 42	% 0.330	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、12,804円です。
(投信会社)	(35)	(0.275)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、運用報告書等各種書類の作成等の対価
(販売会社)	(－)	(－)	運用報告書等各種書類の交付、取引口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(7)	(0.055)	ファンド財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.033	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(4)	(0.033)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	17	0.134	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.034)	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(13)	(0.099)	・ 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、弁護士費用、法定提出書類の作成等に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	・ 信託事務の処理に要する費用
合計	63	0.497	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

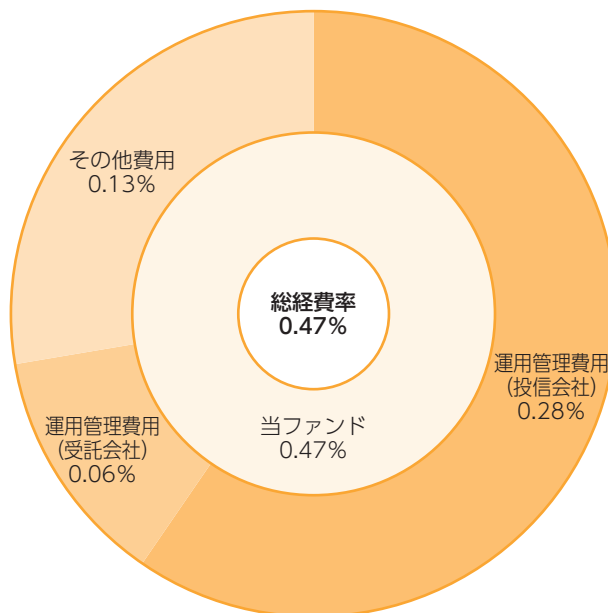
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.47%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。小数点以下第3位を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買及び取引の状況（2024年3月22日～2025年3月21日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

ファンド名称	設定口数	設定金額	解約口数	解約金額
トラノコ・マザーファンドⅡ	千口 109,824	千円 144,500	千口 65,789	千円 86,000

(注) 単位未満は切り捨てております。

■ 利害関係人との取引状況等（2024年3月22日～2025年3月21日）

該当事項はございません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況（2024年3月22日～2025年3月21日）

該当事項はございません。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況（2024年3月22日～2025年3月21日）

該当事項はございません。

■組入資産の明細（2025年3月21日現在）

親投資信託残高

項 目	期 首 □ 数	当 期 末 □ 数	当 期 末 評 価 額
トラノコ・マザーファンドⅡ	千口 1,329,326	千口 1,373,360	千円 1,829,453

(注) □数・評価額の単位未満は切り捨てております。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

■投資信託財産の構成（2025年3月21日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ト ラ ノ コ ・ マ ザ ー フ ァ ン ド Ⅱ	千円 1,829,453	% 97.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	51,899	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	1,881,352	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨てております。

(注) トラノコ・マザーファンドⅡにおいて、当期末における外貨建て純資産（1,430,046千円）の投資信託財産総額（1,836,935千円）に対する比率は77.8%です。

(注) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=149.06円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年3月21日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,881,352,539
コール・ローン等	51,898,319
トラノコ・マザーファンドⅡ（評価額）	1,829,453,595
未収利息	625
(B) 負債	11,323,458
未払解約金	7,471,216
未払信託報酬	2,962,342
その他未払費用	889,900
(C) 純資産総額(A－B)	1,870,029,081
元本	1,451,785,839
次期繰越損益金	418,243,242
(D) 受益権総口数	1,451,785,839口
1万口当たり基準価額(C／D)	12,881円

(注) 期首元本額 1,380,204,519円
 期中追加設定元本額 572,032,425円
 期中一部解約元本額 500,451,105円
 (注) 1口当たり純資産額は1.2881円です。

■損益の状況（2024年3月22日～2025年3月21日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	62,999
受取利息	62,999
(B) 有価証券売買損益	41,549,295
売買益	51,133,766
売買損	△ 9,584,471
(C) 信託報酬等	△ 7,726,400
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	33,885,894
(E) 前期繰越損益金	104,346,511
(F) 追加信託差損益金	280,010,837
(配当等相当額)	(219,938,972)
(売買損益相当額)	(60,071,865)
(G) 計(D＋E＋F)	418,243,242
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	418,243,242
追加信託差損益金	280,010,837
(配当等相当額)	(221,651,118)
(売買損益相当額)	(58,359,719)
分配準備積立金	147,085,120
繰越損益金	△ 8,852,715

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（42,738,609円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（271,158,122円）および分配準備積立金（104,346,511円）より分配対象収益は418,243,242円（10,000口当たり2,880円）ですが、当期に分配した金額はありません。

お知らせ

当ファンドでは投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、2025年4月1日付で信託約款の所要を変更いたしました。

親投資信託

トラノコ・マザーファンドⅡ

運用報告書

第8期 決算日：2025年3月21日

（計算期間：2024年3月22日～2025年3月21日）

トラノコ・マザーファンドⅡの第8期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次の通りです。

主要投資対象	主として世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）される上場投資信託証券（以下「E T F」といいます。）および上場指標連動証券（以下「E T N」といいます。）への投資を通じて、国内外の株式、債券、不動産投資信託（R E I T）、コモディティ、金利等に投資します。なお、債券等に直接投資することもあります。
運 用 方 針	①主としてE T FおよびE T Nへの投資を通じて、国内外の株式、債券、不動産投資信託（R E I T）、コモディティ、金利等を対象とした様々な資産クラスに対してリスクに合わせてバランスの取れた分散投資を行います。 ②投資する資産クラスや銘柄の選定については、平均分散アプローチを用いて、運用の基本方針に沿った最適ポートフォリオを構築します。 ③ポートフォリオについては、クオンツ・リサーチに基づいた平均分散アプローチによる最適化を定期的に行うことにより、必要な場合にはポートフォリオの構成比率をリバランスします。 ④原則として、米ドル建ての実質的外貨建資産に対して50％～100％の範囲で、適時、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。その他の外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ⑤資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合もあります。
主 な 投 資 制 限	①E T FおよびE T Nへの投資割合は制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③デリバティブの直接利用は行いません。 ④外国為替予約取引は、ヘッジ目的に限定します。 ⑤一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10％、合計で20％以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産
		期 騰 落	中 率		
4 期 (2021年 3月22日)	円		%	%	百万円
	11,751		28.7	99.2	966
5 期 (2022年 3月22日)	11,920		1.4	100.8	1,203
6 期 (2023年 3月20日)	11,184	△	6.2	97.9	1,412
7 期 (2024年 3月21日)	12,943		15.7	96.9	1,720
8 期 (2025年 3月21日)	13,321		2.9	96.8	1,829

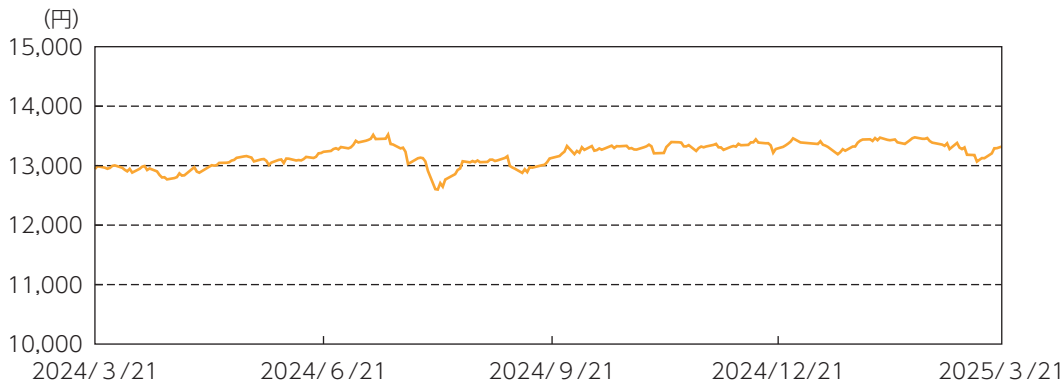
当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2024年 3 月21日	円		%	%
	12,943		—	96.9
3 月末	13,004		0.5	100.4
4 月末	12,974		0.2	98.9
5 月末	13,051		0.8	97.5
6 月末	13,313		2.9	98.4
7 月末	13,126		1.4	95.6
8 月末	13,088		1.1	94.6
9 月末	13,193		1.9	98.0
10月末	13,325		3.0	96.8
11月末	13,265		2.5	95.6
12月末	13,390		3.5	98.2
2025年 1 月末	13,471		4.1	96.3
2 月末	13,279		2.6	94.8
(期 末) 2025年 3 月21日	13,321		2.9	96.8

(注) 騰落率は期首比です。

期中の基準価額等の推移

(2024年3月22日～2025年3月21日)



当ファンドの当期末基準価額は13,321円、前期末から378円のプラスとなりました。2024年度を通して、米国株式市場はAI関連銘柄によるけん引やFRBによる利下げなどから上昇した後、トランプ政権の関税政策で景気後退が懸念され小幅上昇となりました。債券市場やREIT市場では、日本を除き世界的に長期金利は低下しましたが、物価上昇や景気後退などが懸念されてまちまちとなりました。ドル円市場は日米金利差の縮小や米国景気後退懸念による円買いなどから小幅にドル安円高となりました。

(上昇要因)

- ・ 米国株式市場の上昇。

(下落要因)

- ・ 一部の債券銘柄やREIT銘柄の下落。小幅なドル円市場の下落。

投資環境

(2024年3月22日～2025年3月21日)

<株式市場>

米国株式市場はAI関連銘柄によるけん引やFRBによる利下げなどから上昇していましたが、トランプ政権の関税政策で景気後退が懸念され、通期で見ると小幅上昇となりました。

<債券市場>

債券市場は、FRBの利下げに合わせて長期金利が下落し債券価格が上昇する場面もありましたが、トランプ政権の関税政策による輸入物価の上昇などが懸念され、通期では横ばいの動きとなりました。

<REIT>

世界的な金利引き下げなどによる株価上昇により、REIT市場も好調な場面はありましたが、関税を巡る景気後退懸念が広がるとREIT市場も下落し、米国REITは小幅上昇でしたが日欧REITは下落するなど、まちまちな展開となりました。

<商品市場>

ゴールド市場は、比較される長期金利の低下や、中東やロシアを巡る地政学リスクの高まりなどに後押しされ大きく上昇しましたが、原油市場は景気後退による原油需要の縮小懸念などから下落しました。

<為替>

ドル円市場は、米長期金利低下と日長期金利上昇で二国間金利差の縮小が意識されて円高に振れた後、インフレ懸念などからドル高となっていましたが、年度末には関税政策による米国景気後退が懸念されて、再び円高となりました。

当ファンドの運用経過と結果

当ファンドは、世界各国の上場投資信託証券（ETF）等に投資しました。価格の振れ幅（リスク・リターン）に特に注目して運用されるこのマザーファンドは、リスクとリターンのバランスを重視し、大トラと小トラのマザーファンドの中間程度のリスクとなるように計算されたモデルポートフォリオに従って運用されています。

また、為替リスクに関しては、米ドル建ての実質的外貨建て資産に対して、期中に複数回ヘッジ比率の増減調整を行いました。ヘッジ部分は為替変動リスクが低減されますが、期末現在、ヘッジ比率は79.1%です。

今期の結果として、大きく下落した市場はありませんでしたが、大きく上昇した市場もなく、米国株式市場の小幅上昇などから、中トラも小幅上昇となりました。

今後の運用方針

引き続き、運用の基本方針に従い、リスクとリターンのバランスを重視した最適ポートフォリオを構築することにより、ある程度のリターンの獲得を目指した運用を行います。

1万口当たりの費用明細

(2024年3月22日～2025年3月21日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	円 4 (4)	% 0.034 (0.034)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	5 (5) (0)	0.035 (0.035) (0.000)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・信託事務の処理に要する費用
合計	9	0.069	
期中の平均基準価額は、13,206円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■売買及び取引の状況（2024年3月22日～2025年3月21日）

投資信託証券

	国	銘柄名	単位数又は口数	買付額	単位数又は口数	売付額
国内	日本	TOPIX連動型上場投資信託	□ 10,590	千円 28,620	□ 6,480	千円 18,398
		NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	10,540	19,231	5,990	11,059
		小計 証券数・金額	21,130	47,852	12,470	29,457
国外	アメリカ	ISHARES CORE U.S. AGGREGATE	□ 1,252	千ドル 124	□ 664	千ドル 64
		ABRDN BLOOMBERG ALL COMMODIT	632	12	658	13
		VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	7,842	389	4,212	208
		ISHARES GOLD TRUST	723	34	3,579	172
		SCHWAB U.S. TIPS ETF	4,012 (21,965)	159 (-)	2,864	103
		Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF	1,679	132	1,193	93
		VANGUARD FTSE EUROPE ETF	909	61	878	61
		VANGUARD MID CAP ETF	272	69	236	62
		VANGUARD S&P 500 ETF	606	309	646	336
		VGRD FTSE ALL WRLD EX US SML CAP ETF	510	60	338	40
		VANGUARD FTSE EMERGING MARKET	1,681	75	1,739	81
		VANGUARD EMERGING MARKETS GOV BOND ETF	1,195	77	738	47
		小計 証券数・金額	21,313 (21,965)	1,506 (-)	17,745	1,285

(注) 金額は受け渡し代金です。

(注) 単位未満は切り捨てております。ただし、単位未満の場合は小数で記載しております。

(注) ()内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■主要な売買銘柄（2024年3月22日～2025年3月21日）

銘柄	柄	単位数又は口数	買付金額	銘柄	柄	単位数又は口数	売付金額
VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF(アメリカ)	□	千円		VANGUARD S&P 500 ETF(アメリカ)	□	千円	
VANGUARD S&P 500 ETF(アメリカ)	7,842	57,597		VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF(アメリカ)	646	51,891	
TOPIX連動型上場投資信託	606	45,459		ISHARES GOLD TRUST(アメリカ)	4,212	31,995	
SCHWAB U.S. TIPS ETF(アメリカ)	10,590	28,620		TOPIX連動型上場投資信託	3,579	26,624	
Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF(アメリカ)	4,012	23,540		SCHWAB U.S. TIPS ETF(アメリカ)	6,480	18,398	
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	1,679	19,551		Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF(アメリカ)	2,864	16,005	
ISHARES CORE U.S. AGGREGATE(アメリカ)	10,540	19,231		VANGUARD FTSE EMERGING MARKET(アメリカ)	1,193	14,311	
VANGUARD EMERGING MARKETS GOV BOND ETF(アメリカ)	1,252	18,482		NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	1,739	12,502	
VANGUARD FTSE EMERGING MARKET(アメリカ)	1,195	11,530		ISHARES CORE U.S. AGGREGATE(アメリカ)	5,990	11,059	
VANGUARD MID CAP ETF(アメリカ)	1,681	11,186		VANGUARD MID CAP ETF(アメリカ)	664	10,013	
	272	10,350			236	9,590	

(注) 金額は受け渡し代金です。（償還分は含まれておりません。）

■利害関係人との取引状況等（2024年3月22日～2025年3月21日）

該当事項はございません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2025年3月21日現在）

国内投資信託証券

銘 柄	期 首	当 期	期 末	組 入 比 率
	単位数又は口数	単位数又は口数	評 価 額	
TOPIX連動型上場投資信託	□ 76,130	□ 80,240	千円 236,186	% 12.9
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	53,460	58,010	106,796	5.8
合計 単位数又は口数・金額	129,590	138,250	342,982	
合計 銘柄数<比率>	2	2	<18.7%>	

（注）合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

（注）単位未満は切り捨てております。

外国投資信託証券

銘 柄	期 首	当 期	期 末	組 入 比 率
	単位数又は口数	単位数又は口数	評 価 額	
	□ 数	□ 数	外貨建金額 邦貨換算金額	
(アメリカ)	□	□	千ドル 千円	%
ISHARES CORE U.S. AGGREGATE	9,112	9,700	958 142,939	7.8
ABRDN BLOOMBERG ALL COMMODIT	2,609	2,583	55 8,200	0.4
VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	44,794	48,424	2,357 351,448	19.2
ISHARES GOLD TRUST	13,454	10,598	608 90,740	5.0
SCHWAB U.S. TIPS ETF	21,101	44,214	1,179 175,835	9.6
Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF	9,786	10,272	809 120,623	6.6
VANGUARD FTSE EUROPE ETF	4,881	4,912	357 53,237	2.9
VANGUARD MID CAP ETF	1,343	1,379	360 53,713	2.9
VANGUARD S&P 500 ETF	3,088	3,048	1,585 236,313	12.9
VGRD FTSE ALL WRLD EX US SML CAP ETF	2,845	3,017	358 53,488	2.9
VANGUARD FTSE EMERGING MARKET	7,801	7,743	358 53,368	2.9
VANGUARD EMERGING MARKETS GOV BOND ETF	8,667	9,124	589 87,857	4.8
合計 証券数・金額	129,481	155,014	9,578 1,427,767	
合計 銘柄数<比率>	12	12	— <78.0%>	

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

（注）< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

（注）単位未満は切り捨てております。

<組入上位 E T F の概要>

※発行会社作成のANNUAL REPORTから内容を抜粋しています。

Vanguard Total International Bond Index Fund

This table reflects the Fund's investments, including short-term investments, derivatives and other assets and liabilities.

Portfolio Composition % of Net Assets (as of October 31, 2024)

Africa	0.0%
Asia	20.1%
Europe	62.6%
North America	10.4%
Oceania	3.9%
South America	0.7%
Other Assets and Liabilities—Net	2.3%

<組入上位 E T F の概要>

※発行会社作成のANNUAL REPORTから内容を抜粋しています。

Vanguard 500 Index Fund

This table reflects the Fund's investments, including short-term investments, derivatives and other assets and liabilities.

**Portfolio Composition % of Net Assets
(as of December 31, 2024)**

Communication Services	9.4%
Consumer Discretionary	11.2%
Consumer Staples	5.5%
Energy	3.2%
Financials	13.6%
Health Care	10.1%
Industrials	8.1%
Information Technology	32.4%
Materials	1.9%
Real Estate	2.1%
Utilities	2.3%
Other Assets and Liabilities—Net	0.2%

<組入上位 E T F の概要>

※委託会社作成の請求目論見書から内容を抜粋しています。

NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第 22 期 (2023 年 7 月 10 日現在)	第 23 期 (2024 年 7 月 10 日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,722,431,848,135	2,042,045,668,355
株式	18,371,541,019,470	23,925,861,696,890
派生商品評価勘定	1,778,399,246	18,358,125,900
未収入金	6,081,469,246	19,377,357,500
未収配当金	24,050,468,793	26,232,886,392
未収利息	13,835,446	4,766,638
その他未収収益	1,273,883,088	1,433,360,140
差入委託証拠金	17,951,034,339	5,621,467,298
流動資産合計	20,145,121,957,763	26,038,935,329,113
資産合計	20,145,121,957,763	26,038,935,329,113
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	418,573,310,507	466,311,596,488
未払受託者報酬	1,746,625,265	2,145,023,970
未払委託者報酬	4,563,538,135	5,596,671,815
未払利息	803,172	24,936,326
有価証券貸借取引受入金	1,061,919,951,000	1,240,060,149,812
その他未払費用	2,746,306,588	3,446,883,942
流動負債合計	1,489,550,534,667	1,717,585,262,353
負債合計	1,489,550,534,667	1,717,585,262,353
純資産の部		
元本等		
元本	10,042,545,837,500	10,067,176,090,000
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金 (△)	8,613,025,585,596	14,254,173,976,760
(分配準備積立金)	200,018,810	246,135,721
元本等合計	18,655,571,423,096	24,321,350,066,760
純資産合計	18,655,571,423,096	24,321,350,066,760
負債純資産合計	20,145,121,957,763	26,038,935,329,113

■投資信託財産の構成（2025年3月21日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 1,770,750	% 96.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	66,185	3.6
投 資 信 託 財 産 総 額	1,836,935	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨てております。
(注) 当期末における外貨建て純資産（1,430,046千円）の投資信託財産総額（1,836,935千円）に対する比率は77.8%です。
(注) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル＝149.06円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年3月21日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,957,371,711
コール・ローン等	64,931,862
投資信託受益証券(評価額)	1,770,750,215
未収入金	1,120,435,800
未収配当金	1,253,079
未収利息	755
(B) 負債	1,127,864,133
未払金	1,127,864,133
(C) 純資産総額(A－B)	1,829,507,578
元本	1,373,360,555
次期繰越損益金	456,147,023
(D) 受益権総口数	1,373,360,555口
1万口当たり基準価額(C／D)	13,321円

(注) 当親ファンドの期首元本額は1,329,326,280円、期中追加設定元本額は109,824,000円、期中一部解約元本額は65,789,725円です。
(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、【元本の内訳】の通りです。
(注) また、1口当たり純資産額は1.3321円です。

【元本の内訳】
トラノコ・ファンドⅡ 1,373,360,555円

■損益の状況（2024年3月22日～2025年3月21日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	48,061,082
受取配当金	47,703,016
受取利息	358,066
(B) 有価証券売買損益	3,035,683
売買益	247,690,456
売買損	△244,654,773
(C) 信託報酬等	△ 624,323
(D) 当期損益金(A + B + C)	50,472,442
(E) 前期繰越損益金	391,208,856
(F) 追加信託差損益金	34,676,000
(G) 解約差損益金	△ 20,210,275
(H) 計(D + E + F + G)	456,147,023
次期繰越損益金(H)	456,147,023

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。